

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年1月31日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東
コード番号 6932 URL <https://www.endo-lighting.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 遠藤 邦彦
問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長(氏名) 後藤 修二 (TEL) 06-6267-7095
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	37,221	13.2	3,543	106.6	3,972	92.6	3,066	187.8
2023年3月期第3四半期	32,881	14.8	1,715	△30.4	2,062	△27.3	1,065	△50.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,565百万円(76.1%) 2023年3月期第3四半期 3,160百万円(△8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	207.50	—
2023年3月期第3四半期	72.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	62,336	36,620	58.7
2023年3月期	57,343	31,535	55.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 36,620百万円 2023年3月期 31,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	17.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	6.1	4,800	55.2	4,500	23.9	3,200	8.0	216.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	14,776,321株	2023年3月期	14,776,321株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	152株	2023年3月期	152株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	14,776,169株	2023年3月期3Q	14,776,169株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇及び為替変動リスク等の不安要素を抱えつつも、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復基調となりました。世界経済においては、不安定な国際情勢を背景とする地政学リスクの高まり、各国の金利政策の変更に伴う急激な為替変動及び景気減速懸念等、先行き不透明な状況となりました。

このような状況の中、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、持続可能でよりよい社会の実現を目指し、高い省エネ性能に加え、顧客価値を創造する光の質を高めた新製品の開発、製造及び販売に注力して参りました。

業界に先駆け製品をLED化して以降、製品のエネルギー効率の継続的な改善は製造メーカーの責務と考え、さらなる高効率照明器具の開発を進めるとともに、サステナビリティ委員会を設置し、「人と地球にやさしい未来の光」の創造に向けて、サステナビリティ経営を推進しております。

また、製造部門においては、環境に配慮した製品の提供を目指し、継続した品質改善活動及び原価低減活動を行うとともに、販売管理費の抑制に努めて参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、37,221百万円（前年同四半期比13.2%の増収）となり、営業利益は3,543百万円（前年同四半期比106.6%の増益）、経常利益は3,972百万円（前年同四半期比92.6%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,066百万円（前年同四半期比187.8%の増益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

a. 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、高いブランドイメージの確立に努めました。

国内市場については、無線照明コントロールシステム「Smart LEDZ Fit/Fit Plus」及び無線調光調色器具「Tunable LEDZ」の販売促進に注力しました。電気料金の高騰やサステナビリティに関する社会的要請の高まりを背景に、既存照明器具の取り換え需要に加え、新設の商業施設やオフィス等の大型施設向け需要の取込みを強化しました。

また、自然の光、カラー演出、色味調整の三役を1台で備えた次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」の製品群を大幅に拡充し、東京事業所の体験型オフィスをさらにリニューアルするとともに、これからの照明を模索する「Synca U/X Lab connect」を新設、そして福岡営業所にも「Synca U/X Lab FUKUOKA」を新設しました。さらにオフィス向けカタログ「LIGHTING+FOR WORKSPACE」を発刊し、積極的な販売活動を展開しました。

急激な円安の進行と原材料の高騰による売上原価への影響の対応としては、価格改定を行うとともに、原価低減及び販売管理費削減の取組みを継続して進めました。

海外市場については、英国において2023年5月に「S16」カタログを発刊し、顧客密着型の営業を強化しました。また、革新的なサービス・製品の提供を行ったとして、1965年から半世紀以上の歴史を持つ英国公式賞である「The King's Awards（英国国王賞）」を受賞いたしました。

さらに、アジアでは、高級建築市場顧客の需要に応える「sync」シリーズの継続した新商品リリースを通じ、同市場における高いブランドイメージの確立と、高級住宅のWEB照明プレゼンテーションツールとして、「Virtual Concepts」をリリースし認知度向上に努めました。「sync4」カタログを2023年6月のWEB公表に引き続き7月に発刊し、既存顧客の深耕に努めるとともに高級建築市場の開拓を進めました。

この結果、売上高は32,941百万円（前年同四半期比11.3%の増収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）となり、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は3,769百万円（前年同四半期比99.8%の増益）となりました。

b. 環境関連事業

当セグメントにおきましては、流通店舗を中心にLED照明の更新提案に注力しました。

昨今の電気料金の高騰及び初期型LED照明のメンテナンス費用及び光熱費高騰の課題を解決するため、既存LED照明から最新のLED照明への更新による消費電力の削減及び店舗体験価値の向上を提案しました。特に既存店のLED照明更新の提案では、無線照明コントロールシステム「SmartLEDZFit/FitPlus」及び次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」の採用により、朝昼夜と時間帯で光の色と明るさを変化できる調光調色照明に取り換え、居心地がよく且つ電気代の削減と店舗環境の向上に貢献しました。

また、営業活動においては動画を活用した展示会でのプレゼンテーションの再配信等、デジタルツールを活用することにも注力し、営業活動の効率向上に努めた結果、レンタル契約実績及び機器販売実績ともに堅調に推移しました。

この結果、売上高は7,337百万円（前年同四半期比20.3%の増収）となり、セグメント利益は641百万円（前年同四半期比10.5%の増益）となりました。

c. インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、オフィス市場の開拓に注力し、同市場におけるブランド確立に向けた活動を展開しました。オリジナル家具の制作及び業者開拓、環境にやさしい素材を使った商品を提案しました。

オフィスで使いやすいテーブル及びチェアを拡充し、他メーカーと共同制作したオリジナルスツール及び環境にやさしい素材を使った商材等を取り入れたカタログ「AbitaStyle 12 改定版」を増刷し、更なるAbitaStyleブランドの認知向上のため訪問活動を強化しました。

また、行動制限緩和による人流回復を受け、ホテル関連への販売活動を強化しました。さらに、オフィスの多様化によって音環境に関する問題も増えてきていることから吸音パネルの受注獲得に向けた活動も積極的に進め、2023年12月には「Booth&Green」の新カタログを発売し、オフィス緑化を取り入れた大型物流施設の休憩スペースなども手掛けました。

この結果、売上高は853百万円（前年同四半期比32.2%の増収）となり、セグメント損失は37百万円（前年同四半期は96百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、62,336百万円(前連結会計年度末比4,993百万円の増加)となりました。

主な要因は、「現金及び預金」の増加3,144百万円、「受取手形及び売掛金」の増加1,327百万円及び「棚卸資産」の増加336百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、25,715百万円(前連結会計年度末比92百万円の減少)となりました。

主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加601百万円、「その他流動負債(未払金等)」の増加551百万円及び「有利子負債」の減少1,299百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、36,620百万円(前連結会計年度末比5,085百万円の増加)となりました。

主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上3,066百万円、「為替換算調整勘定」の増加2,473百万円、「配当金の支払い」による減少480百万円及び「繰延ヘッジ損益」の減少9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月28日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,050	15,195
受取手形及び売掛金	8,386	9,714
商品及び製品	11,358	11,685
仕掛品	272	299
原材料及び貯蔵品	1,236	1,218
その他	1,945	1,838
貸倒引当金	△109	△268
流動資産合計	35,140	39,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,508	9,817
減価償却累計額	△4,943	△5,294
建物及び構築物(純額)	4,564	4,522
機械装置及び運搬具	3,444	3,615
減価償却累計額	△2,994	△3,214
機械装置及び運搬具(純額)	449	401
レンタル資産	15,023	15,682
減価償却累計額	△7,877	△8,366
レンタル資産(純額)	7,146	7,315
土地	3,453	3,449
リース資産	534	463
減価償却累計額	△398	△333
リース資産(純額)	136	129
建設仮勘定	319	377
その他	3,754	3,957
減価償却累計額	△3,191	△3,344
その他(純額)	563	613
有形固定資産合計	16,634	16,810
無形固定資産		
ソフトウェア	406	450
のれん	2,368	2,498
その他	97	103
無形固定資産合計	2,871	3,051
投資その他の資産		
投資有価証券	72	93
退職給付に係る資産	20	59
繰延税金資産	945	962
その他	1,733	1,761
貸倒引当金	△75	△85
投資その他の資産合計	2,696	2,791
固定資産合計	22,202	22,653
資産合計	57,343	62,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,282	4,883
短期借入金	2,850	3,150
1年内返済予定の長期借入金	4,794	4,436
リース債務	66	51
未払法人税等	207	440
賞与引当金	572	423
役員賞与引当金	120	148
製品保証引当金	655	713
その他	2,415	2,966
流動負債合計	15,965	17,215
固定負債		
長期借入金	8,239	7,002
リース債務	73	83
繰延税金負債	332	310
役員退職慰労引当金	119	106
退職給付に係る負債	251	323
その他	826	673
固定負債合計	9,842	8,500
負債合計	25,807	25,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,516	5,516
利益剰余金	18,405	20,990
自己株式	△0	△0
株主資本合計	29,077	31,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	27
繰延ヘッジ損益	△67	△77
為替換算調整勘定	2,625	5,099
退職給付に係る調整累計額	△114	△92
その他の包括利益累計額合計	2,457	4,957
非支配株主持分	0	0
純資産合計	31,535	36,620
負債純資産合計	57,343	62,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	32,881	37,221
売上原価	21,558	22,762
売上総利益	11,323	14,459
販売費及び一般管理費	9,608	10,915
営業利益	1,715	3,543
営業外収益		
受取利息及び配当金	55	195
賃貸収入	106	123
為替差益	921	-
デリバティブ評価益	-	329
その他	58	30
営業外収益合計	1,142	678
営業外費用		
支払利息	73	69
賃貸収入原価	56	52
為替差損	-	92
デリバティブ評価損	632	-
その他	33	35
営業外費用合計	795	250
経常利益	2,062	3,972
特別利益		
固定資産売却益	2	1
特別利益合計	2	1
特別損失		
役員退職慰労金	338	-
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	338	0
税金等調整前四半期純利益	1,725	3,973
法人税、住民税及び事業税	476	970
法人税等調整額	183	△62
法人税等合計	660	907
四半期純利益	1,065	3,066
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,065	3,066

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,065	3,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	13
繰延ヘッジ損益	△313	△9
為替換算調整勘定	2,392	2,473
退職給付に係る調整額	14	22
その他の包括利益合計	2,095	2,499
四半期包括利益	3,160	5,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,160	5,565
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前期第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	26,181	6,054	645	32,881	32,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,416	43	—	3,459	3,459
計	29,597	6,098	645	36,341	36,341
セグメント利益又は損失(△)	1,886	580	△96	2,369	2,369

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,369
セグメント間取引消去	64
未実現利益の調整額	42
全社費用(注)	△761
四半期連結損益計算書の営業利益	1,715

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	29,075	7,293	853	37,221	37,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,866	43	—	3,910	3,910
計	32,941	7,337	853	41,132	41,132
セグメント利益又は損失(△)	3,769	641	△37	4,372	4,372

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,372
セグメント間取引消去	79
未実現利益の調整額	25
全社費用(注)	△933
四半期連結損益計算書の営業利益	3,543

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。